

脳神経外科研修プログラム

指 導 医 落合祐之

研 修 期 間 基 本 コ ー ス 選 択 科 目 1 ヶ月から9 ヶ月
小児科・産婦人科コース
産 婦 人 科 主 科 選 択 科 目 1 ヶ月から6 ヶ月
小 児 科 主 科 選 択 科 目 1 ヶ月から6 ヶ月

G10(一般目標)

当直医として脳神経外科の初期治療が行なえるために、救急外来、病棟、画像検査室(CT、MR、DSAなど)、手術室において、脳神経外科の基本を習得する。

SBO(行動目標)

成人の頭部外傷

1. 頭部外傷患者の重症度を把握し、診察、検査、処置のうち何を優先して行なうかの判断ができる。
2. 頭皮の切創、裂創、挫創などの止血と縫合処置ができる。
3. 頭部CTスキャンと頭蓋単純撮影の適切な検査指示を出し、外傷性病変を診断できる。
4. 中等度以上の重症患者を入院させ、適切な指示を出すことができる。また、病態の要点を指導医に報告し、指示を仰ぐことができる。
5. 軽症患者やその家族に、頭部外傷後の経過観察における要点をわかりやすく説明することができる。

小児の頭部外傷

1. 小児頭部外傷の特徴を理解し、患児の家族に説明できる。
2. 嘔吐する患児を入院させ、適切な治療を行なうことができる。
3. けいれん発作や意識障害のある重症患児に初期治療を行ない、専門医に渡すことができる。

頭痛

1. 病歴、症状、画像診断から、頭痛の鑑別診断を行ない、脳圧亢進症状や髄膜刺激症状を見抜いて、重症患者を入院させることができる。
2. 慢性頭痛を鑑別し、外来で適切な薬剤の処方を行なうことができる。

けいれん

1. けいれん発作を起す疾患を頭蓋内病変とそれ以外に分けて鑑別し、発作を止

める適切な初期治療を行なうことができる。

2. 抗てんかん薬の注射、内服薬、坐薬を処方し、実際に使うことができる。

インフォームドコンセント、その他

1. 検査や手術のインフォームドコンセントを学び、簡単な処置についてはそれを行なうことができる。

2. 簡単な診断書、証明書を作成することができる。

3. 死亡診断書と死体検案書の違いを理解し、書類を作成することができる。

方法および評価 指導医と上級医について研修する。評価はE P O Cを使用し、自己評価および指導医の評価を行う。